

# TECHNICAL DATA

種 類	合成樹脂エマルジョンペイント (アクリル系)
商 品 名	NEWベランコート (No.1~5)

改訂版数 :	第3版
--------	-----

DATE : 2023. 4. 1



菊水化学工業株式会社

# 標準施工仕様書

- 種類：合成樹脂エマルジョン系仕上塗膜材（水系塗料）
- 商品名：NEWベランコート（No.1～5）
- 用途：①白華したベランダ等コンクリート及びモルタル色調補修  
②マンションベランダ等コンクリート及びモルタル補修仕上面の保護
- 適用下地：コンクリート・セメントモルタル等
- 工程

工程	材料・調合	施工用具	間隔時間 (20℃)	塗回数	用途	所要量
塗布	ベランコート 原液：20kg 清水：1～2L	ウールローラー 水性刷毛 など	約15分	2 ～ 3	RC (床・壁)	約100m <sup>2</sup> /20kg缶 (約0.2kg/m <sup>2</sup> )

## ● 施工手順

### I. 下地面の確認

- ①コンクリートが十分な養生期間を経て乾燥していることを確認してください。
- ②下地面に接着を阻害する異物が付着している場合は必ず除去・清掃してください。
- ③下地面が強靱であることを確認し、脆弱層などは予めハツリ・サンダー掛けなどを行い、強靱な面を露出させてください。また、ハツリ取った箇所はポリマーセメントモルタルで補修してください。

### II. 下地面の清掃

付着した汚れ等を施工前日までに高圧水洗機などで洗浄し、十分に乾燥させてください。

### III. NEWベランコートの施工

#### 1. 配合

NEWベランコート原液	20 kg (1 缶)	}	十分に 攪拌する
清 水	1～2L		

※少量ずつ使用する場合はNEWベランコート原液を缶内でよく攪拌し、原液に清水（約5%）を加えた後、十分に攪拌して使用してください。

#### 2. 塗布

ローラー、又は刷毛等を用いて2～3回塗り重ねるように仕上げてください。（間隔15分程度）

※標準施工面積（約100m<sup>2</sup>/1缶）です。総塗布量は約200g/m<sup>2</sup>を目安としてください。

### IV. 養生

塗布したNEWベランコートが完全に乾燥するまで、雨水や流水を避け、数日間養生してください。

## ● 施工上の注意事項

- ①耐摩耗性・耐腐食性・耐薬品性の求められる条件化での施工は避けてください。
- ②気温5℃以下又は40℃以上の条件下、降雨時・降雪時等の施工は避けてください。
- ③下地コンクリートの含水率は8%以下を目安としてください。
- ④サンダーコンクリート面に施工する際は、下地処理として浸透性プライマー（当社製品：JS浸透性プライマー）を塗布し乾燥（翌日以降まで）させるか、又は下地調整モルタルを施工した後、NEWベランコートの塗り付けを行ってください。
- ⑤NEWベランコート原液に清水以外の異種物質は絶対に混ぜないでください。
- ⑥NEWベランコート自体が仕上材です。汚れ防止の為に、ベランコートの上に更に水系クリヤー等を塗布される場合は必ず当社までお問い合わせ下さい。尚、溶剤系のクリヤーはベランコートが侵される可能性があるため絶対に避けてください。
- ⑦器具（ローラー、刷毛等）は、使用後に必ず水で洗浄してください。
- ⑧NEWランコートはセメント色の濃さに合わせて5種類（No.1～5）の色調を用意しております。
- ⑨使い残しは、必ず密栓して保管してください。

●安全上の注意事項

- ①取り扱う際は、保護メガネ・保護手袋等の保護具を着用してください。
- ②室内で施工する場合は換気を十分にしてください。
- ③取扱い後は、顔・手・口等を洗浄してください。
- ④作業中、目に液が入った場合はただちに水洗いをして、速やかに医師の診断を受けてください。
- ⑤皮膚に付着した場合は付着物をふき取り、石けんでよく洗い、かゆみや炎症等の症状のある場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- ⑥飲み込んだ場合は直ちに吐かせ、医師の診断を受けてください。
- ⑦漏出した製品が河川・下水道へ流入すると環境を汚染するおそれがありますので十分に注意し、産業廃棄物として処理してください。

# 組 成 表

種 類 合成樹脂エマルジョンペイント (アクリル系)

商 品 名 NEWベランコート

荷 姿 NEWベランコート

NET 20kg/缶入

組 成

内 容	重 量 (%)
アクリル系エマルジョン	20～30
体質顔料	45～55
清 水	15～20
添加剤	3～5
着色顔料	適 宜
計	100

—以下余白—

# 性能試験成績書

種類	合成樹脂エマルジョンペイント (アクリル系)	
商品名	NEWベランコート	
供試材料	NEWベランコート	
試験方法	JIS K 5663-2003 1種に準拠	
試験項目	規 定	結 果
容器内での状態	かき混ぜたとき、かたい塊がなく一様になるものとする。	合 格
塗装作業性	2回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。	合 格
低温安定性 (-5℃)	変質してはならない。	合 格
乾燥時間	標準状態	2時間以内 合 格
	5℃	4時間以内 合 格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合 格
隠蔽率 (淡彩)	93以上	97%
耐水性	96時間浸したとき異常がないものとする。	合 格
耐アルカリ性	48時間浸したとき異常がないものとする。	合 格
耐洗浄性	500回の洗浄に耐えられるものとする。	合 格
促進耐候性	白垂化の等級は1以下で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合 格
屋外曝露耐候性	12ヶ月の試験で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化と白垂化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合 格
<p>※ 結果数値は代表値であり品質保証値ではありません。</p> <p style="text-align: center;">—以下余白—</p>		

# 一般的な注意事項

## 《下地》

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分行ない、含水率 10%以下、pH10 以下で施工してください。
- かびや藻が発生している場合は、塩素系漂白殺菌剤「KSクリーナー」などで殺菌洗浄を行ってください。
- ALC やコンクリートなどで巣穴、段差がある場合は、下地調整塗材（JIS A 6916 相当品）等で処理してください。
- 無機塗料、特殊下地への塗装及び特殊塗装の場合は、最寄りの弊社営業所にご相談ください。
- 布クロス、紙クロス、汚染防止加工されたクロスには塗装しないでください。剥離を起こす場合があります。
- プラスターボードへの塗装はパテかい部とそれ以外の面で吸込みの違いが生じ、色むらなど仕上がりに影響が出る恐れがあります。下塗りを塗装して均一な状態にしてください。
- ドアのゴムパッキンなど可塑剤を含むものやシーリング材への塗装は塗膜の汚染、剥離などが起こる場合があります。詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。
- 合成皮革、ゴムパッキン、軟質塩化ビニル製品などは、塗膜との接触を避けてください。可塑剤のブリードによる粘着が起きる場合があります。
- 蓄熱しやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、発泡ウレタン使用建材など）に塗装する場合は、蓄熱や水の影響、下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで建材の変形、塗膜の膨れ、剥離が生じることがあります。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。

## 《環境》

- 塗膜の乾燥過程で水分の影響（高湿度、結露、降雨等）を受けた場合、塗膜表面が白化することがあります。施工場所の気温が 5℃以下、湿度 85%以上又は結露の発生が考えられるなど水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
- 外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

## 《施工》

- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、

必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。

- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 塗料は、均一にミキサーで攪拌してから使用してください。
- 材料の希釈量は、所定の希釈量範囲内、所定の所要量で事前に試験塗りなどを行ない、決定してください。希釈の過多、不足はダレや隠ぺい不足、仕上がりがムラの原因になります。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
- 色、模様決定に当たっては事前に見本板で確認してください。
- 被塗物の形状、膜厚、塗回数、希釈量などの違いにより実際のつやと異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時の塗継ぎ箇所でも起こる場合があります。特に艶調整品は、被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間等により実際の艶と若干違って見える場合がありますので、試し塗りの上、本施工してください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 傷などで補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを取っておき、同一塗料、同ロット、同一方法で補修してください。
- 他の材料と混合して使用しないでください。
- 水性塗料には動物毛の刷毛は固まり塗装に支障が出ますので化繊の刷毛を使用してください。
- 使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。
- 溶剤形の下塗を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- シーリング材は可塑剤の含まないノンブリードシーリング材を使用してください。シーリング材の上へ直接施工する場合、シーリング材の種類や材齢によって塗膜の汚染、剥離、収縮割れなど不具合を起こすことがあります。詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行ってください。

#### 《材 料》

- つや調整品は、はけ、ローラーでの塗装でムラが出やすくなります。スプレー塗装をお勧めします。
- つや調整品は、塗料が分離しやすいので、良くミキサーで混ぜながらご使用ください。
- 刷毛塗りとローラー塗り、スプレー塗りが混在する場合、施工方法の違いで若干の色相差が生じます。希釈量を調整するなどして塗装してください。
- 濃色や原色に近い色彩では塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などに触れる可能性のある部位への施工は行わないでください。施工する場合は、クリヤーによる保護塗装を行ってください。

- 上塗りに黄色、赤色、青色、緑系の彩度の高い色を塗装する場合、隠ぺい性が不足する場合がありますのであらかじめ中塗りとして共色を塗装してください。
- 希釈した材料を後日使用すると、色相が変わる場合があります。希釈した材料は、その日のうちに使い切るようにしてください。
- 防藻、防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。施工部位の形状、構造、環境条件によっては防藻、防カビ効果が十分に発揮されない場合があります。また、すでにカビ、藻が繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理を行ってください。
- 施工部位により、傾斜壁の下端部、水切りの無い部位、窓周りで水切りが不十分な場合、雨掛りの少ない部位などは低汚染性が十分に発揮されない場合があります。
- 施工後、塗膜が乾燥するまでの間に、塗膜表面に長時間水がかかった状態になると、艶引け、ひび割れ、変色等が発生する場合があります。また、艶消し品や濃色品では低温時、湿度が高い状況下などで塗膜に艶が出たり、白濁、塗膜中の成分の流出が起こる場合があります。

#### 《保 管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。

#### 安全衛生上の注意事項

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細は SDS (安全データシート：旧 MSDS) を参照してください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- エポキシ樹脂系の材料は、皮膚にかぶれを引き起こす恐れがあります。皮膚に付着しないよう特に注意してください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹼で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
- 開封後、やむを得ず保管する場合は無希釈の状態でも密栓して冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。



- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

\* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようになしてください。